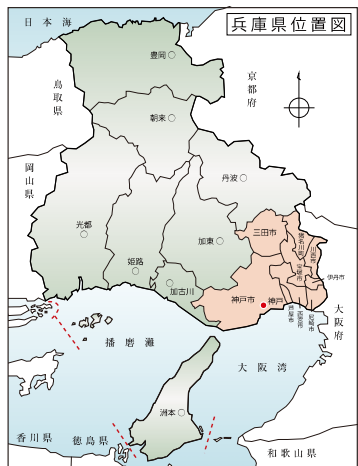


平成26年8月 台風第11号による被災箇所「42箇所」

人家裏等の身近なところで災害が発生しました



ちさん 治山ダムの効果

治山ダムが大量の土砂や立木を受け止めました



神戸市灘区六甲山町にある別荘下の斜面が幅20m、長さ200mにわたり崩壊しましたが、崩壊地直下に設置されていた昭和63年度施行の治山ダムが大量の土砂や立木を受け止めました。この治山ダムがなければ大規模な土石流が発生していた可能性があり、治山ダムの重要性が再認識されました。



神戸市北区有馬町のスギ、ヒノキ林で斜面が幅50m、長さ20mにわたり崩壊し立木が流出しましたが、崩壊地直下に設置されていた平成13年度施行の治山ダムが大量の立木を受け止めました。この治山ダムがなければ立木が河川等に流出し下流市街等に大きな被害が発生していた可能性があり、治山ダムの重要性が再認識されました。

このたびの災害では、崩壊地直下に治山ダム等が設置されていたため、人や住宅に被害が発生しませんでした。雨の降り方によっては、大きな被害が発生する場合があります。
避難勧告等が発令された場合は、速やかに避難行動等を起こすことが重要です！

※被災箇所は、六甲治山事務所調査より